

## 花の木北遺跡 発掘調査だより No.3

梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか。発掘調査は猛暑の中、熱中症にも気を付けながら進めております。

7月初めに遺構の検出作業を終えました。先月号では3棟の竪穴建物の存在を想定していましたが、さらに2棟みつきり、計5棟の竪穴建物があることが判明しました。ほかに多数の土坑(穴)と1基の土器棺がみつかっています。

竪穴建物は東西を谷に挟まれた丘の先端、標高50mの等高線に沿うように並んでいます。ただし、これらは同じ時期のものではありません。竪穴建物Aは弥生時代中期、BとCは古墳時代中期(5世紀)、DとEは弥生時代と考えていますが、まだ時期の詳細は不明です。

竪穴建物Aからは、弥生時代中期の壺が、竪穴建物BとCからは多くの高坏が出土しました。これらの出土した土器から、その年代が分かるのです。また、竪穴建物CとDの中心部には火を焚いた炉の跡(熱を受けて赤くなった焼土跡)がありました。

土器棺は古墳時代の竪穴建物Cの真横にあります。弥生時代中期のもので、胴部が膨らむ形の壺を横に向けて埋めています。裏面の写真上側が壺の口です。

その他、土坑が10基以上みつかっています。規則的に並んだりしておらず、建物の柱穴ではないようですが、何のための穴なのかは分かりません。

皆さまにこのたよりが届くころには、竪穴建物の調査はほぼ終了しているかと思います。今後、ドローンで空中から遺跡全体の撮影を行ない、8月末には調査を終える予定です。



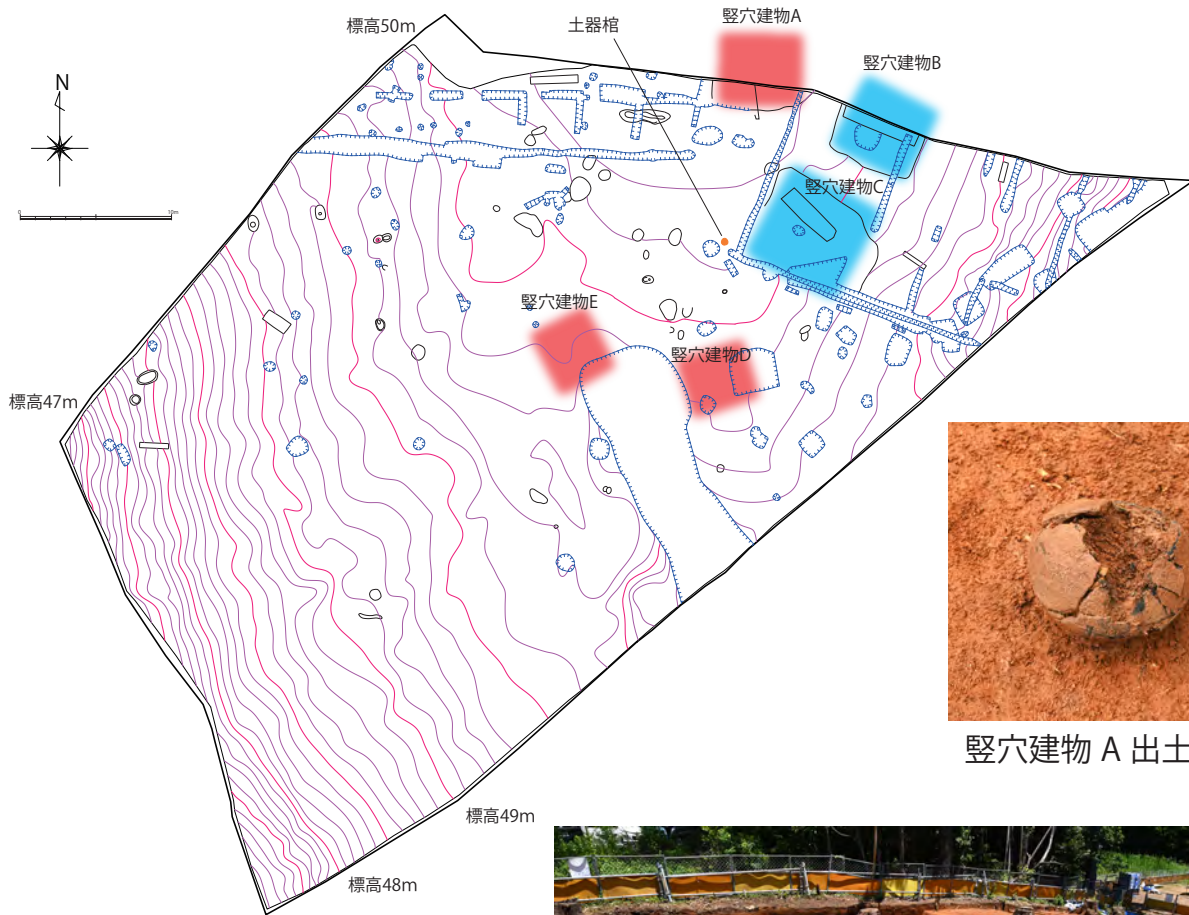
竪穴建物調査風景



土器棺



竪穴建物B



竪穴建物 A 出土の壺



竪穴建物 D の炉跡



竪穴建物 C

発掘調査だよりNo. 3

委託者 愛知県埋蔵文化財センター TEL: 0567-67-4163 (担当 池本・早野・堀木)

受託者 株式会社アコード TEL: 090-1679-5883 (担当 吉井)